

# 体



② 大地震に襲われた札幌の街を立体映像で映し出すのが「3Dシアター」。崩れ落ちてくるコンクリート塊などが、スクリーンから飛び出して来るようで迫力満点です。随所にアドバイスが盛り込まれ、災害の恐ろしさと、防火・防災の心構えを同時に学ぶことができます。



① 最初に受付カウンターで「防災博士挑戦カード」が渡されます。このカードには各体験コーナーでの結果が記録され、「防災情報ステーション」の画面で確認できます。成績が優秀な方には「防災博士認定証」が発行されます。

⑪ 消防のしごと

④ 「消火体験コーナー」では、消火器や屋内消火栓を使った消火の仕方を学びます。正面のスクリーンには、炎を上げてんぷら鍋や延焼する事務所の映像が映し出されるなど、臨場感たっぷり。最後に消火の成功、失敗が判定されます。



③ 阪神・淡路大震災や北海道南西沖地震など実際にあった6つの地震のほか、震度4から7までの揺れを体感できる「地震体験コーナー」。大きく揺れる部屋で、ガスこんろや湯沸かし器の火を消し、ドアを開けて避難路を確保するまでの行動に挑戦します。



⑦ 心肺そ生法や応急手当を学べる「救急体験コーナー」。心臓停止後、何もしないと約3分で死亡率が50%



にもなるため、救急車到着までの対応で生死が大きく左右されます。救急体験の知識は、大切な人を救うための大きな力となります。



⑥ モニターに映し出される災害現場を見ながら、火災、救急の通報を体験する「119番通報体験コーナー」。家庭用電話、公衆電話、携帯電話の3種類を体験することができます。

⑤ 煙の充満した2階建て建物からの脱出を体験できるのが「煙避難体験コーナー」。1階のコースは車椅子利用の方も体験できます。



⑨ 「防災グッズウィンドー」には、災害時のための非常持ち出し品や自主防災資機材が展示されています。

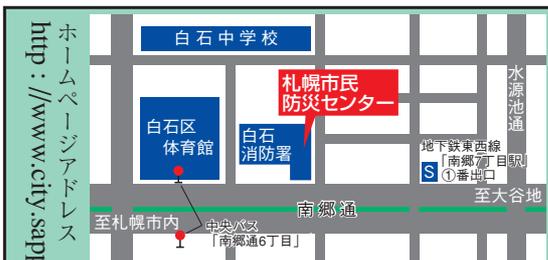


⑧ 「防災情報ステーション」では、火災・救助・防災などの分野から出題されるクイズで、学んだ知識を確認したり、防火・防災に役立つ情報を調べたりすることができます。



⑪ 各種活動服の実物展示が目玉の「消防のしごと」コーナー。消防の仕事内容や消防車両に関する写真も展示されています。

⑩ 2階には札幌市内の模型「防災シティ札幌」が展示されています。ランプで防災関係施設の場所を確認できるほか、模型のヘリコプターを操縦できます。



## ◆利用案内◆

所在地 南郷通6丁目北

電話番号 (361) 1211

開館時間 午前9時30分から午後4時30分まで

休館日 月曜日・毎月最終火曜日・祝日の翌日・年末年始

入館料 無料

交通 地下鉄東西線「南郷通6丁目」下車

ホームページアドレス <http://www.city.sapporo.jp/shobo/tenji/index.html>

